





弁護士  
森 徹

## 意外!案外?想定外。

明けましておめでとうございます。穏やかなお正月をお迎えのことと思います。本年も皆様にとって良い年となりますことをお祈り致します。

昨年は皆様にとってどのような一年でしたでしょうか?英国のEU離脱、米国大統領選挙でまさかのトランプ当選など意外なことが多かったのではないのでしょうか?

広辞苑(第六版)によると、「意外」とは、「思いのほか。案外」とのことです。「案外」は「ふとどき」との意味もありますが、「予測とくいちがうさま。思いのほか」とあり、「意外」と同義です。数年前に流行った「想定外」は掲載はありませんが、「想定」は「ある一定の状況や条件を仮に思い描くこと」とのことですので、「想定外」は仮にもこのような状況、条件すら思い描けなかったという意味になりませんか?

想定外と言えば、広島カープ。すべて(?)の解説者の予想に反し、セ・リーグでダントツの優勝。「神ってる」との言葉が流行ったように、本当に運が良かったと思います。残念ながら38年ぶりの日本一には届きませんでした。インディアンズやカブスのことを思うと、賢沢は言っておられません。思えば、1986年の西武との日本シリーズ。3勝1分で、いざ意気込んで西武球場に観に行ったものの、息詰まる投手戦。延長の末、ピッチャーの工藤にまさかのヒット。それから4連敗。ヤギの呪いならぬ、以来、日本一から遠ざかってしまいました。昔から二刀流には弱かったようです。大谷のようなうれしい想定外は歓迎ですが、我々にとって、本来、想定外はあってはならぬこと。油断大敵。今年も気を引き締めて一年を送りたいと思います。今年も宜しくお願い致します。



弁護士  
後藤 啓

## 日和田山

秋晴れの暖かい日曜日に日高市の日和田山に登ってきました。日和田山は西武池袋線沿線に住む人にはお馴染みの山で、小学校の遠足でもよく登られる山です。高麗駅から登山口まで歩いて10分ほどで、1時間もあれば登って下りてくることができます。そのまま縦走して、物見山まで歩いてよいし、麓の巾着田で散歩するのも気持ちの良いハイキングコースです。

小さい山ながら、山頂付近は開けていて景色がよく、岩場・鎖場もあって、小さな子供でも冒険気分を味わうことができます。近くには、ロッククライミングが出来る場所もあって、本格的な練習をしている人もいます。

私は父と二人でのんびりと物見山まで縦走して、武蔵横手駅に抜けてきました。本当はユガテの里まで行こうと

したのですが、途中で道に迷って断念しました。ところで、山歩きの途中、びっくりすることがありました。山頂から降りてくる途中、3、40歳くらいの男女のグループとすれ違ったのですが、全員裸足で歩いていたのです。一緒に歩いていた父が「何で裸足で歩いているんですか」と聞くと、「体に良いんですよ」と明るく答えてくれました。あとでインターネットで調べてみると、確かに、裸足で山登りをすると、歩き方が改善されたり、膝や腰の痛みがなくなったり、色々良いことがあるそうで、愛好会のようなものもあるようです。私など、考えただけで足の裏がムズムズしてしまうのですが、案外やってみたら気持ちの良いものなのかもしれません。子供の頃から何度も登った山ですが、登る度に新しい発見があります。



事務局

## 旅Run体験

GW直前に台北行き航空券を購入。インターネットで基隆河沿い折返しコースのマラソン大会20kmの部に申し込んでみました。早朝6時30分スタート。滞在宿から会場まで、始発電車の前のためジョギングで向かいました。みな原付バイクでバラバラ集合し、町の運動会のような何とものどかな雰囲気。コースの河沿いは整備された公園になっており、景色も変わらないので、折返してくるランナーを見ながら楽しんで、女子1位のランナーはアフリカ系の人。2位は??と、自分が折返し地点に。周りのランナーが給水を手伝ってくれ、応援もあり疲れてきても走り続けねばならず、女子2位でゴールしました。日本では入賞も少ないタイムですが、表彰式に出て賞金まで頂いてしまいました。日本と勝手が違いましたが、面白い体験ができました。



弁護士  
西岡 弘之

## サンタさんはおとずれるか?

クリスマスは妻と長男、長女の4人でパーティーを開くことにしています。ここ数年このイベントをひととき盛り上げてくれたのは、パーティー直前に現れ、子どもたちにプレゼントを置いて去っていく、お馴染みの赤い衣装と帽子を身につけ、顔一面、真っ白い綿のひげで覆われたサンタさん。

このサンタさん、インターフォンを押して来訪を告げ、2階の窓から覗いた子どもたちに無言で手を振る。そして、喜び勇んだ子どもたちが急いで玄関前まで駆けつけたときにはすでに姿がない。空を見上げたときには、トナカイが引くそりも去った後。といったパターンでここ数年クリスマスプレゼントを運んできてくれたとのこと。

「とのことです」としたのは、実は、私はまだこのサンタさんに遭遇したことがないからです。毎回、一人だけサンタさん

に会いそびれて残念がっているパパに同情した長男は、今年はパパと一緒にサンタさんに会えるようにと、パパがサンタさんと会うことを邪魔している犯人一すなわち、パーティーの直前になると、決まって、注文しておいたケーキの引き取りなどのお使いをパパに頼むママに対して、「今年はパーティーの前にパパにお使い頼んじゃダメだよ」と釘を刺していました。納戸の中、子どもたちの目に届かない高さの棚の上に置かれた紙袋の中身。年に一度しか活躍しませんが、100円ショップで買って来た粗悪品なので、あちこち綻びかけており、身に付けるのもそろそろ限界です。それに、今年小学校に上がり少しずつ賢くなってきた長男。はたして、今年は、サンタさん来てくれるのでしょうか。(これを執筆したのは2016年11月です。)



弁護士  
北村 聡子

## 「建前」と「きれいごと」

日本では数年前から人種差別的言動=ヘイトスピーチが深刻な問題となっています。アメリカでも白人至上主義・排外主義を標榜するトランプ氏が大統領に選出されました。「人種差別をしてはならない」というのは「建前」や「きれいごと」に過ぎない。むしろ「本音」を正直に言う人間の方が正しく、信頼できる。」といった思想が世界のいたるところで蔓延し始めているように感じます。

人は、もちろん私も含め、他人を差別してしまう生き物です。その差別的な気持ちを「本音」と捉えるならば、差別の気持ちを言葉や態度に表して他人を傷つけてはならないという考え方は、確かに「建前」や「きれいごと」ということとなるかもしれません。しかし、この「建前」や「きれいごと」がこれまで是とされてきたのには、当然、理由がありま

す。様々な戦争・植民地支配・虐殺といった悲劇は、常に人々の人種差別的思想を利用して起こってきました。その悲劇を二度と繰り返さないという反省の上に人種差別撤廃条約が成立したのが第二次世界大戦後の1965年。日本も遅ればせながら同条約に1995年に加入しています。反差別的思想に「建前」や「きれいごと」といったラベリングをして、これを否定しようとする最近の風潮は、数多くの悲劇を通して先人が学んできた教訓を無にする危険があるのではないのでしょうか。むしろ私は、いつまでも「建前」や「きれいごと」にこだわって生きていきたいと思えます。



事務局

## ヘアドネーション

ヘアドネーションという言葉聞いたことがある方も多いかと思います。病気や治療等で髪を失った女性や18歳以下の子供の為に、寄付された人毛でウィッグ(カツラ)を作り、無償提供する活動です。日本ではJHDACというNPO法人が、寄付された人毛を回収し、医療ウィッグとして提供しています。賛同美容院なら、カット後にJHDACへ発送もしてくれるので、私も2年前寄付をしました。ウィグをつくるのに、20~30人の髪の毛の束が必要だそうです。カットの長さが31cm以上という基準があり、簡単には寄付できませんが、ロングヘアーからショートにしようかなと思われている方、是非ヘアドネーションも考えてみてはいかがでしょうか?